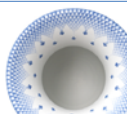


料金別納郵便



澤谷由子 展 小雪の金沢より

令和6年12月3日(火)~8日(日) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日8日は午後5時まで)

作家在廊日：12月3日(火)、4日(水)、7日(土)、8日(日)

■ 抽選販売について 恐れながら、本展の全ての出品作品を抽選販売とさせていただきます。詳細は、お手数ですが、弊廊 HP (→) をご覧頂ければ幸いです。
抽選の受付：12月3日(火)~5日(木) 11:00~19:00 まで弊廊の店頭にて



陶歴 平成 元年 秋田県横手市生まれ
平成 24 年 岩手大学 教育学部 芸術文化課程 卒業
平成 26 年 上越教育大学大学院 学校教育研究科 修了
平成 28 年 平成 27 年度 岩手県美術選奨 受賞
平成 29 年 金沢卯辰山工芸工房 修了
令和 4 年 第 16 回 パラミタ陶芸大賞展 大賞
令和 5 年 第 34 回 タカシマヤ美術賞 受賞

ときに青空をぼ一つと見上げる事があります。快晴も気分が爽いですが、青空に雲がかり、その青と白が交じり、刻々とうつろう景色も良いものです。今回、ご紹介する澤谷由子さんは、まさにそのうつろう空の様な色の美しい磁器作品を金沢の地で懸命に作っておられます。澤谷作品は、自ら形成したそのボディにイチチン技法(生クリームを絞出すか如く、細いチューブに入った粘土を水で溶いたものを盛り付ける技)を駆使し、気が遠くなる様な細かくも美しい幾何学文様を幾重にも幾重にも盛り付けたものです。

さて、神無月の一、金沢市内に新しく構えられた素敵な澤谷工房にお邪魔しました。美しい最新作を拝見して、澤谷ファンの一人として、心が浮き立ちます。真新しいマットブラックに覆われた洒落た電気窯が工房に届いた時は、あまりにも嬉しくて、窯の前で就寝されてしまったとのこと。優しいお人柄を感じ、なんとも微笑ましい限りです。

茶の湯に携わる様になって良かったと思う事のの一つが、ひと様のことに思いを馳せ、ひと様の心の痛みや喜びを共に感じる事だと、私は思います。至らぬ私は、なかなかそれができなくて歯痒い日々なのですが、澤谷さんはそれが出来る美しいお心の持ち主です。なので、澤谷さんとのやりとりは、心地よく、楽しくて仕方ありません。

小雪から大雪の候に移ろう頃、弊廊初となる念願の澤谷由子展。約40点の茶陶などの青、白、黒色の最新作を発表します。さあ、明日はどんな天気でしょうか…。またあてもなく空を眺め、澤谷作品に想いを馳せたいと思います。

店主 安田尚史

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル B2 階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式 Instagram



